2学年A組　社会科、いのちの授業学習指導案

MT：N　ST：K

1. 題材名　歴史の中で生きる私たち

2. 目標
   - 社会科：歴史の中の自分を知り、自分が置かれている位置を知る。
   - いのち：活動の中で、過去から未来へ続く命の繋がりを知る。

3. 本時の流れ

活動・内容　(時間)	予想される反応(●)、発問(○)、指示(△)	指導上の留意点、　評価
授業者が自己紹介をする (3分)	△自己紹介をします ○この中に、私の親戚がいます。誰でしょう。○○君(さん)久しぶり。元気だった？ ●えー、何で？　そうなの？　知らなかった！ △不思議に思った人がたくさんいると思います。今日はこの謎について考えてみたいと思います。	・生徒と教師は初対面なので、生徒が緊張しているのを解きほぐすために、親しみをもって授業に入るようにする。 ・一人の生徒だけではなく、複数の生徒と話をして、生徒の思考を混乱させる。
家系図をたどり、いのちの連鎖をイメージする 人口統計を計算し、調べることで、自分と過去とのつながりに気づく 過去から現在、未来へ認識を深める (37分)	△自分から、上の世代を知るためのものに、家系図というものがあります。これは私の家系図です。皆さんもプリントに家系図を書いて見ましょう。 ●お爺ちゃんはわかる　曾婆ちゃんの名前は何だろう *(5分)* ○では自分の先祖は何人いるでしょうか。鎌倉時代までを考えてみましょう。プリントに計算する欄があるので、そこで計算してみてください。(3分) ●6710万8864人 ○実際の人口データを見てみましょう。比べて何に気がつきますか。 ●予想より少ない　少なすぎる △自分たちの計算となぜ異なるのか考えて下さい。 ●統計が違う　平均寿命が短い　兄弟がいる (7分) △黒板に実際の人の広がりと、計算上の広がりを図示して、説明する。 ○実際の人の広がりと、計算上の広がりを比べて思ったことを書いてください。 ●実際は重なって増えるんだぁ　繋がりを感じる(15分) *(25分)* ○ここまで上の世代を見てきましたが、将来はどうなっているでしょうか。家計図を引っくり返してみましょう。気づいたことを話し合ってみてください。(5分) ●自分は先祖とつながっている、自分も家計図の一部であるなど。 ○今日学習した繋がりはどこで始まったのでしょうか ●ｱｳｽﾄﾗﾛﾋﾟﾃｸｽ　一つの先祖　*(7分)*	・祖父母まで書いてある(祖祖母は空欄)家系図を大きく提示する。 ・先祖を知らないこと＝悪ではなく、意識していないからだし、お爺ちゃん、婆ちゃんと呼んでいるからだということをいう。 ・「計算のためのヒント」の部分を全員で確認してから(説明してから)計算活動に入るようにする。 ・一人平均して30歳で子どもを生むと考え、計算をする。教師は机間巡視して支援する。 ・実際の鎌倉時代の総人口と比較し、なぜ違うのかを書かせる。 ・他の人と自分は、今は他人かもしれないけれども、どこかで繋がっていたかもしれないし、将来繋がるかもしれないということを伝える。 ・出てきた答えを受け入れた上で、一つの考えとして人とのつながりを説明する。 ・個人学習の間で可能なかぎり机間巡視を行ない、教師の予想通りに書いている生徒、予想外の生徒を抽出する。 ・「子どもを産むことが大切」という認識を持たせるのではなく、社会の中で生きていく中で、果たさなければならない責任があるということを話す。 ・ユーラシア大陸と繋がっていたことを示すために古代日本地図を提示する。
学習を通して学んだことについて、感想を書き友人の話を聞く (10分)	○今日の学習で感じたことを、書いてください。(5分) ●自分の存在の重要性を感じた。　自分は一人ではない。 △何人かに発表してもらう。(3分) *(8分)* △授業者の経験を話す。 *(2分)*	・**自分なりに考え、自分の存在ついて感じることができたかを問う。** ・机間巡視を行い、数人の意見を抽出しておく。 ・全体で多様な意見を取り上げて発表してもらう(共有する)。 ・授業の狙いを焦点化した話をして、授業を終える。

4.評価：歴史の中に共通に生きている自分の存在と他者の存在を感じることができたか。(社会科)
　　過去から現在の自分まで繋がるいのちに気づくことができたか。(いのち)